



土木 × 建築 × 異分野のコラボレーション

— 交流から考え, 生まれる日本の未来 —

□ 主旨

現在, 公共空間の整備の際, 土木・建築・造園・都市計画・歴史・まちづくりなど, 幅広い分野について検討・配慮が求められ各専門分野の連携が必要とされている. そこで, 九州内各地を中心に全国で様々な分野を学んでいる学生達を対象とし, ひとつの会場に集結し, 専門家との議論や同分野・異分野の学生同志が議論し, 考え, 異分野とのコラボレーションを体験する場を提供すべく, 『九州ランドスケープワークショップ—交流から考え, 生まれる日本の未来—』を企画した. 本企画の目的は, 分野の枠を超えて九州さらには全国において活躍する人材を育成する場を与えることである. また, このような企画を通じて共感できる仲間を見つけ刺激しあい, そのネットワークが九州内外に広がっていくことは, これからの九州・全国の美しい風景を守り, 育てるきっかけとなり, 新たな文化価値を生むための大きな力となるはずである. また本企画が, 各専門分野の抱える問題や, 学生が将来関わるであろう業務の一助になるようなものにしたい.

□ 開催要項

日時: 2007.8.31(FRI) 10:00 - 17:00 (展示/10:00 - 17:00 イベント/13:00 - 17:00)
会場: 福岡大学 1号館 2F (イベント会場: 123 教室)
主催: KYUSHU LANDSCAPE WORKSHOP
協力: KL2(KYUSHU LANDSCAPE LEAGUE), ANIX

□ パネリスト

九州大学, 九州工業大学, 熊本大学, 福岡大学

□ ゲストクリティーク

藤村龍至 (藤村龍至建築設計事務所主宰)
柴田 久 (福岡大学工学部社会デザイン工学科 准教授)

福岡大学 75 周年記念事業 学生チャレンジプロジェクト

土木 × 建築 × 異分野のコラボレーション

— 交流から考え, 生まれる日本の未来 —

□ ゲストクリティーク



藤村 龍至 (建築家)

1976 東京都生まれ
 2000 東京工業大学工学部社会工学科卒業
 2002 東京工業大学大学院理工学研究科建築学専攻修士課程修了
 2002-2003 ベルラーヘ・インスティテュート (オランダ)
 2003- 東京工業大学大学院理工学研究科建築学専攻博士課程
 2002-2005 ISSHO 建築設計事務所共同主宰
 2005- 藤村龍至建築設計事務所主宰



柴田 久 (景観・まちづくり)

1970 福岡県生まれ
 2001 東京工業大学大学院情報理工学研究科情報環境学専攻
 博士課程修了 博士(工学)
 2001 筑波大学大学院 ビジネス科学研究科 講師
 2002 東京工業大学大学院 情報理工学研究科 非常勤講師
 2002 四国学院大学 社会学部応用社会学科 講師
 2005- 福岡大学工学部 社会デザイン工学科 准教授

□ パネリスト

宮崎 大 / 九州大学大学院: 遠賀川河川敷景観設計
 岡田祐介 / 九州大学大学院: 日の里中学校
 栗山 喬 / 九州工業大学大学院: さくら橋ワークショップ
 増山晃太 / 熊本大学大学院: 設計事務所 × 研究室ーハレノソラノシタ
 橋本 剛 / 熊本大学大学院: 窓湯
 南方雄貴 / 福岡大学大学院: アイランドシティフォーリーワークショップ
 松尾健史 / 福岡大学大学院: 福教大附属福岡小学校における児童参加の
 広場デザイン

□ 事例発表会

日 時: 2007. 8. 31(FRI) 13:00 - 17:00
 会 場: 福岡大学 1号館 2F 123 教室
 参加者: 先着 200 名 (申込不要, 参加費無料)

opening-----13:00-13:10

session 1-----13:10-14:00

増山晃太 / 熊本大学大学院自然科学研究科 博士後期課程 2年
 「設計事務所 × 研究室ーハレノソラノシタ」

岡田祐介 / 九州大学大学院芸術学府 修士 2年
 「日の里中学校」

session 2-----14:10-15:30

栗山 喬 / 九州工業大学大学院工学研究科 博士前期課程 1年
 「さくら橋ワークショップ」

橋本 剛 / 熊本大学大学院自然科学研究科 博士前期課程 2年
 「窓湯」

松尾健史 / 福岡大学大学院工学研究科 博士課程前期 1年
 「福教大附属福岡小学校における児童参加の広場デザイン」

session 3-----15:40-16:30

宮崎 大 / 九州大学大学院工学府 修士 1年
 「遠賀川河川敷景観設計」

南方雄貴 / 福岡大学大学院工学研究科 博士課程前期 2年
 「アイランドシティフォーリーワークショップ」

discussion-----16:30-17:00

□ 展示会

日 時: 2007. 8. 31(FRI) 10:00 - 17:00
 会 場: 福岡大学 1号館 2F 展示コーナー

□ 懇親会

日 時: 2007. 8. 31(FRI) 17:15 - 19:00
 会 場: 福岡大学第 2 食堂
 参加者: 申込不要, 参加費 500 円 (軽食及びソフトドリンク)

□ 問い合わせ

KYUSHU LANDSCAPE WORKSHOP 事務局
 (福岡大学工学部社会デザイン工学科 景観まちづくり研究室内)
 担当: 坂口浩昭
 住所: 〒814-0180 福岡市城南区七隈 8-19-1
 TEL: 092-871-6631 FAX: 092-865-6031
 E-MAIL: td064009@cis.fukuoka-u.ac.jp
 URL: http://www.tec.fukuoka-u.ac.jp/tc/

□ アクセス

- 福岡大学へのアクセス方法
 JR 博多駅から地下鉄空港線天神北駅 (6 分) 下車後,
 七隈線天神南駅にて乗換え福大前下車
 (当日は大変混雑致しますので, 公共交通機関をご利用下さい)
- 福岡大学内キャンパスマップ
 1号館 (イベント会場) は 1F の北側と南側に入口があります



土木 × 建築 × 異分野のコラボレーション

— 交流から考え、生まれる日本の未来 —

■ 九州ランドスケープワークショップの開催にあたり

土木、建築、造園など各方面の学生らによる興味深い活動が、全国的に行われている。しかし、それらを集結させる場は、未だ少ない。公共空間の整備などを考える上で、各分野との連携は欠かせないものである。そういった背景を踏まえ、幅広い知見・知識を共有・修得できることはもちろん、参加者同士のネットワーク構築にも寄与できる場を企画した。今後私たちが公共空間の整備に関わる仕事に携わるとき、この企画で培われたネットワークや知識・知見を活かすことでスムーズに業務を推進し、さらには、同じ価値観のもと、より大きな社会貢献をしていけるのではないかと考える。私にとってこの関係（ネットワーク）構築こそが今回の大きな目的である。この企画の開催にあたり、問題意識に賛同し貴重な事例を公表いただいた方、開催準備をともに頑張っていたいただいた方、チャンスをくださった福岡大学には、よりいっそうの感謝を申し上げる。

会場で、活発な意見交換が行われることと今後、このような場が自然発生的に全国で多発していくことを期待している。

代表 坂口浩昭

■ ゲストクリティック

藤村 龍至（建築家）、柴田 久（福岡大学准教授）

■ パネリスト

session1 増山晃太 / 熊本大学大学院「店舗 / 建築と街路 / 土木を商店街アーケードでつなぐ」

- ・アーケード設計における前提条件の整理とそこに暮らしている住民達の意識を向上させることに苦労した
- ・あえて空間をデコボコにすることで、本来の中途半端なスケールからヒューマンスケールに近づけた

岡田祐介 / 九州大学大学院「設計における情報整理と課題の明確化」

- ・中学校の廊下から校舎前のオープンスペースまでの視線の見えとそのアプローチを重視
- ・全体構成をホームベース型とし、中心には収納スペースを配置することで学年間の交流

session2 栗山 喬 / 九州工業大学大学院「杖立住民達とのコラボレーション」

- ・ポールの配置を安全面からも景観面からも重視した
- ・住民達に現存する景観資源を再認識してもらうことで、設計時では引き算のデザインに拘ることができた

橋本 剛 / 熊本大学大学院「足湯を媒介に弧風院の内外を連結させる」

- ・足湯の配置計画は、内部空間の多様性、外部空間の緑を念頭に行った
- ・建物にキズをつけないためにも、開口部から離れたカタチで足湯を設置した

松尾健史 / 福岡大学大学院「児童 × 専門家から生まれたデザイン」

- ・WS中に模型を用いることで、児童達に対してデザインにおける留意点の認識を向上させた
- ・設計案に至るまでの対話プロセスにより予算増額と広場以外の空間デザインに対して教員達の理解を得た

session3 宮崎 大 / 九州大学大学院「河川という大きなものを住民達と作り上げる」

- ・昔からそこに存在する素材を受け継いでデザインに活かしていく
- ・水の流れとのり面勾配の関係性を検討することで、災害時にも対処

南方雄貴 / 福岡大学大学院「建築家 × 行政 × 学生、学生 × 学生」

- ・安全面と防犯性を重視することと、予算を検討することに苦労した
- ・外観の仕上げを土塗りとし、その厚みを操作することで生えてくる草などを制限する

■ 第1回ダイジェスト

『土木 × 建築 × 異分野のコラボレーション—交流から考え、生まれる日本の未来—』の第一弾として、学生を中心としたワークショップを8月31日（金）に開催した。当日は、九州大学、九州工業大学、熊本大学、福岡大学などの学生が、パネリストとして参加し、日ごろ自分たちが手がけている土木や建築に関する活動の事例発表を行った。ゲストクリティックとして、藤村龍至氏（藤村龍至建築設計事務所主宰）、柴田久氏（福岡大学准教授）も参加し、学生の事例発表に対し、専門家の立場から様々な意見やアドバイスを述べていただいた。ここでは、分野のコラボレーションとともに学生同士のコラボレーション、学生と専門家のコラボレーションなども目的としている。フリーディスカッションなども行われ、学生には良い刺激を受ける場や情報交換の場となったのではないだろう。

■ ディスカッション内容

- ・建築と土木のデザインに対する解釈には差異があり、今後はどのようにコミュニケーションをとっていくべきか
- ・建築家の有名性に対し、土木分野は無名性という社会構造になっている
- ・公共事業などのプロセスにおいて、デザイナーの位置づけが不明確である
- ・今後は土木も建築も互いに探し求めていく姿勢が重要であり、日頃からどちらも批評し、そこからデザインのヒントを得る事が必要になってくる。

